

2004.1.31

民主

定価 200 円 (消費税込み)

年間誌誌

3000 円 (送料込み)

民主党広報委員会

東京都千代田区永田町 1-11-1

電話 03-3595-9988 (代表)

民主党愛知県総支部連合会

名古屋市東区泉 1-12-34

セントラルアベニュー 1223 9F

電話 052-951-7881



The Democratic Party of Japan

民主党

号外
あいち

民主党のいまがわかる月刊紙

[2004 新年度を迎えて](#) / [決意も新たに・・・国会議員の紹介](#) / [民主党愛知県連総支部連合会・第5回定期大会](#) / [幹事会報告](#) / [インフォメーション](#) / [編集後記](#)

2004 新年度を迎えて



いよいよ国会スタート！正義なき闘いに日本の自衛隊を派遣する準備をしている政府、口を開けば改革をいながら、一向に進まぬ政府。片や借金ばかり増え続ける状況。こんな小泉内閣を一日も早く打倒して、政権交代をさせねば、日本の未来も国民の幸せもない。7月の参院選で、去年の衆院選の大幅な前進同様、民主党の大躍進をめざし、有権者の皆さんの期待に期待に答えていこう。

2名必勝にむけて、頑張ろう。

民主党愛知県総支部連合会代表
佐藤観樹 衆議院議員

▲
[top](#)

決意も新たに・・・国会議員の紹介

= 衆議院議員 =



1区
河村 たかし



2区
古川 元久



3区
近藤 昭一



4区
牧 義夫



5区
赤松 広隆



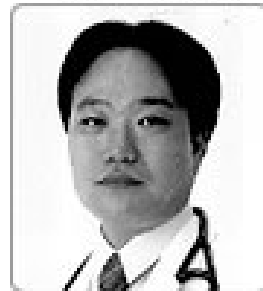
6区
前田 雄吉



7区
小林 憲司



8区
伴野 豊



9区
岡本 充功



10区
佐藤 観樹



11区
古本伸一郎



12区
中根 康浩



13区
島 聡



14区
鈴木 克昌



15区
都築 謙

= 参議院議員 =



県選挙区
佐藤 泰介



県選挙区
木俣 佳丈



県選挙区
大塚 耕平



比例区
直嶋 正行

[top](#)

民主党愛知県連総支部連合会・第5回定期大会

= 2004年度活動方針案(ダイジェスト版) =

■基本的方針

1. 本年度の最大目標は、夏の参議院通常選挙の勝利にある。政権交代を目指すわが党にとっては、政権選択の第二幕と位置づけ、2名の候補者の当選を全党挙げて取り組む。あわせて次期衆議院総選挙を見据え、支持基盤の拡大と選挙体制を強固なものにする。
2. わが党にとって、無党派層の支持を集める戦略が特に不可欠である。昨年の衆議院総選挙では、多党よりいち早く政権政策(マニフェスト)を提示し、一定程度の支持を得た。雇うとしての限界を踏まえつつも、その検証とマニフェストの実現を目指すことが大切である。特に、国会議員は、連合各地協を始め、有権者に対し、マニフェスト関連法案の状況報告や国会報告を必ず行う必要がある。また、国会報告とあわせ、有権者から意見吸収は、民主党の責務であり、この『双方向』を志向する試みなくしては、新たな支持は拡大出来ない。
3. 引き続き党勢拡大に取り組む。本年は、党代表選挙の年であり、政権獲得をめざすわが党にとって、「次の首相候補を選ぶ予備選挙」の重要な意味をもつ。その重要性に立脚して、党勢拡大に生かさなければならない。また、総支部の組織体制の確立と民主的な組織運営の確立を目指す。
4. 昨年策定した「愛・いのち・地球」による政策目標をベースに、県政を始め、各自治体議会向けの政策調査・立案活動を進める。このため出来る限り県民各層との直接対話を行うなど、政策立案の機能を高める。
5. 全党員の協力で、本年4月開校予定である。次の時代の活動家を育成するため「ジャパン・リーダーズカレッジ」の開校とその充実を目指す。

■課題別方針

1. 第20回参議院通常選挙勝利に向けて

- (1) 定期大会終了後、直ちに「参議院選挙連絡調整会議」を設置し、2名の公認候補の勝利を目指し、それぞれの候補者当選に向けて全力を尽くす。
- (2) 衆議院議員または地方自治体議員は複数候補者擁立を配慮し、割り当てを基本として、それぞれの候補者当選に向けて全力を尽くす。
- (3) 「参議院選挙連絡調整会議」は必要に応じ、各候補者選対と協議し補強対策を検討する。また、事前の活動として次の諸活動を企画する。
 - ① 党本部役員の遊説を企画する。その際、各選対と協議し、党本部へ要請する。
 - ② 全県的な取り組みとして「県民対話集会」等を総支部主催で企画する。
 - ③ 候補者選対は3月末の確立を目指す。
 - ④ ポスター・法定ビラ等、両候補者共通の取り組みについては出来る限り統一的に取り組めるよう各選対と調整する。
- (4) 全国比例およびブロック比例候補の活動は党本部方針による。
- (5) 公選法への理解を深めるため体系的な講習と活動家育成を行う。
 - ① 議員および秘書の講習会
 - ② 支持者、労組活動家への講習会

2. 次期衆議院総選挙に向けて

- (1) 国会報告を定例化する。特に、野党の限界を踏まえつつも、マニフェストの実現は、最大限の努力が必要である。議員立法などによる関連法案の立案・審議状況等は、必ず有権者に報告する。その際、ホームページ、民主号外の活用など、連合各地協、後援会等にとどまらず、大胆に一般有権者への参加を呼びかける。
- (2) 国会議員による街頭宣伝行動を定例化する。
- (3) 連合各地協との政策懇談会を3ヶ月に一度程度はおこなう。なお、責任産別・支援産別との政策懇談会は、連合愛知と調整しながら企画する。
- (4) 県連は、選挙違反なき選挙の実現をめざし、選挙法講習会をおこなう。当面、参議院選挙関係者を中心におこなうが、参議院選挙終了後は、衆議院議員、秘書、中心的支援者を対象におこなう。労組等、支援団体活動家については、その持ち方を含め、連合愛知等と協議する。

3. 党勢拡大と総支部組織運営の確立

- (1) 去年に引き続き、党員5,000名を目標とする。
- (2) 国会議員は1人20名の党員を目指す。目標達成済みの国会議員は20名の上積みを目指す。県議会・名古屋市議員は1人20名を確実に獲得する。達成済みの議員は30名を目指す。一般の市議会議員は10名、町会議員は5名の党員を拡大する。達成議員は5名の上積みを目指す。
- (3) 自治体議員の入党を促進する。
- (4) 総支部は、その体制を民主的な運営が出来るように早急に確立する。今大会終了後に総支部の役員改選を行い、県連幹事会后、総支部幹事会が定例開催できるよう体制をつくる。また、県連は20の総支部代表が議論できる幹事会を目指す。
- (5) 引き続き、「民主党自治体議員フォーラム・愛知」の自立的な運営と活動の充実を目指す。
- (6) 本年開校予定の、次の時代の活動家育成の「リーダーズカレッジ」の成功のため最大限努力する。

4. 政策調査立案活動の拡充

- (1) 去年、県連政策調査会は地域政策「基本となる愛知の政策目標」を策定した。今後は、その検証と総選挙でのマニフェストとの整合性、その実現に向けた調査・研究活動を強化する。これを基礎に、地方議会の政策立案機能強化とあわせ、自治体議会での立法活動をめざす。
- (2) 特に今年は参議院選挙の年であり、民主党の掲げる地域の自主性を持つことで「強い地域」が生まれる『分権革命』に焦点を充て活動を進める。地域主権につながる税源移譲や道州制も展望した市町村合併など、広域行政のあり方や課題、など議論を深める。
- (3) 国会での焦点、地方議会への影響など、適時対応し政策調査会を中心に国会・地方議会の連携を強化する。
- (4) 県連・総支部の共催による『タウンミーティング』を実施する。

5. 県民各界・諸団体との連携強化

- (1) 連合愛知、地域協議会との連携を強化する。
- (2) 業界諸団体との意見交換を企画する。小泉内閣の失敗で特に過酷な状況下にある中小企業団体と国会をはじめ地方議会と連携し、『金融アクセス』をはじめ、新産業・企業家支援など、新たな中小企業支援政策等の実現に向けた共同作業に取り組む。
- (3) NPO、NGO諸団体と引き続き意見交換を進める。特に連合愛知の加盟が決定方向の部落解放愛知県共闘会議との差別解消、人権制度政策確立に向けて取り組みを強化する。また、国会で継続審議となっている「人権擁護法」の実効性・独立性を求め抜本修正にむけた取り組みを進める。と同時に愛知県における差別撤廃条例や人権条例等の制定を進める。
- (4) 引き続き「イラク特措法」による自衛隊派遣の中止を求め、国連主導の復興支援実現のための県民運動を促進する。

6. 党財政の基盤整備と強化

- (1) 党勢拡大、議員の拡大による党県連・総支部の基本財政の強化を図る。
- (2) 総支部においての党費滞納を解消する。
- (3) 政治資金規正法による政治資金パーティーを開催する。
- (4) 県連事務局の整備・充実をはかる。



幹事会報告

＝ 1月10日第14回幹事会抜粋 ＝

□ 民主党愛知県連第5回定期大会について

2004年2月22日(日)13:00～名古屋・通信ビル・ホールにて開催。
名古屋市中区千代田2-15-18(鶴舞交差点北西)
代議員参加予定数(183名)
Tel 052-263-5220

□ 参議院選挙2議席確保に向けた党内支援体制について

民主2名が、どのような状況であれ、50万票の獲得を目指す。国会議員は、現職2名の必勝に向け各総支部内の自治体議員と協力して両候補の支援の万全を期す。県・市・町議会議員は、2名のうち、いずれかの候補の支援を県連選対委員および県連幹事会が決定する。参議院比例代表選挙は本部方針による。

□ 民主党愛知県連 2004年度「躍進をめざすつどい」について

2004年4月22日(木)18:00～ウエスティン・ナゴヤキャッスルホテルにて開催。

□ 名古屋都市高速道路の経営抜本改革等、通行料金の凍結を求める運動について

13回県連幹事会(昨年12月13日(土)開催)の決定により、『名古屋都市高速道路問題対策委員会』を設置し会議を行った。対策会議は、昨年12月22日、本年1月9日に開催し、議会対策をすすめつつ、料金を当面凍結し、整備計画の最小コストで完成するまでの間に、利用者本位の公社経営改革を実現すること等、を提言し活動をすすめることに。

□ 民主党2004年定期全国大会について

- 2004年1月12日(月) 東京・品川プリンスホテルにて16:00～地方代議員会議
- 2004年1月13日(火)13:00～本大会を開催。代議員 国会議員＝県連関係19名 地方組織代表＝2名 波形幹事長、佐橋副幹事長

[▲
top](#)

インフォメーション

□ 首長選挙の推薦

豊田市 鈴木公平、現1期(2月1日告示、2月8日投票)

□ 市議会議員補欠選挙の公認

名東区【被選挙数1】 近沢昌行、(新)(1月9日告示、1月18日投票)
選挙結果は・・・11,527票を獲得し当選 投票率20.78%

□ 町議選挙の公認

祖父江町【定数18】 天野 晋、現3期(2月10日告示、2月15日投票)

□ 議員の入党

木曾川町議会議員 笹岡久夫(ささおか ひさお)現4期・70歳

[▲
top](#)

編集後記

昨年は民主党愛知県連にとっては躍進の年であった。4月の統一地方選挙で弾みをつけ、11月の総選挙では県内15選挙区の候補が全員当選という快挙がなされた。民主党に寄せられた期待がストレートに反映された結果だと思う。政権交代を実現するための天王山は、この夏の参議院議員選挙で勝利することである。佐藤泰介・木俣佳文の現職2名の必勝を期しがんばりましょう。

広報委員長 榊原 康正
(県議会議員)

インターネット・アドレス

<http://www3.ocn.ne.jp/~minshu7/>
e-mail:minshu@dream.ocn.ne.jp

[▲
top](#)

